第３８回定時株主総会
事業報告

２０１１年6月２５日

ぴあ株式会社
PIA CORPORATION

1）２０１０年度 業績の概要

1. 決算のポイント
2. 業績
3. 取り組み
4. 事業別業績

2）２０１１年度 見通し

1）２０１０年度 業績の概要

1．決算のポイント

2．業績

3．取り組み

4．事業別業績

2）２０１１年度 見通し

決算のポイント

① 4期ぶりに黒字化。

・・・営業利益　５４百万円。経常利益　３０百万円。当期純利益９２百万円。

② ３月度に震災の影響を受けるも業績予想をクリア。

・・・震災の影響額は、営業利益で約１５０百万円の下ぶれ。

③ 前年と比べて、売上高は3.5％の減収ながらも、
収益構造の改善が進み、利益は大幅に良化。

・・・ライブ・エンタテインメント関連事業：減収・増益
・・・メディア・コンテンツ事業：減収・（若干の）減益
・・・全社費用その他：大幅な削減を実施

④ 第３四半期決算まで記載されていた決算短信の「継続企業の前提に関する重要事象等の概要」の表記を解消。

1）２０１０年度 業績の概要

1．決算のポイント

2．業績

3．取り組み

4．事業別業績

2）２０１１年度 見通し

（1）業績予想比較

２０１０年度は、期初予想を売上高･営業利益･経常利益･当期純利益いずれも達成

【連結】 百万円単位 【業績予想】

		2010年5月13日時点	【2010年度】	【予想比較】		
期初予想比較	売上高	86,500	92,664	6,164	7.1%	達成
	営業利益	50	54	4	8.0%	達成
	経常利益	10	30	20	200.0%	達成
	当期純利益	60	92	32	53.3%	達成
		2011年2月10日時点				
修正予想比較	売上高	92,500	92,664	164	0.2%	達成
	営業利益	65	54	△11	△16.9%	未達
	経常利益	30	30	0	0%	達成
	当期純利益	60	92	32	53.3%	達成

業績予想の修正を２０１１年２月に発表、震災の影響を受けるも、ほぼ予想値を達成

（2）前年比較

２０１０年度は、前年２００９年度と比較すると、売上は減収ながら、営業利益･経常利益･当期純利益が、いずれも大幅に良化し、黒字にて着地

【連結】 百万円単位

前年比較	【２００９年度】	【２０１０年度】	【前年比較】		
売上高	９５,９８７	９２,６６４	△３,３２３	△３.５％	減収
営業利益	△５９４	５４	６４８	－	良化
経常利益	△６４２	３０	６７２	－	良化
当期純利益	△９２０	９２	１,０１２	－	良化

事業構造と経費の両面から収益構造の良化が進捗し、黒字体質へ改善

(3) 損益計算書

[単位:百万円]

	＜連結損益計算書(要約)＞			＜単体損益計算書(要約)＞		
	【2009年度】	【2010年度】	【前年比】	【2009年度】	【2010年度】	【前年比】
売上高	95,987	92,664	△3,323	95,321	91,660	△3,661
営業費用	96,582	92,610	△3,972	96,006	91,604	△4,402
営業利益	△594	54	648	△684	56	740
営業外収益	31	33	2	14	16	2
営業外費用	79	57	△22	98	60	△38
経常利益	△642	30	672	△768	11	779
特別利益	77	313	236	61	313	252
特別損失	310	216	△94	322	205	△117
税金等調整前当期純利益	△876	127	1,003	△1,030	119	1,149
法人税等合計少数株主利益	26	35	9	32	32	0
当期純利益	△920	92	1,012	△1,063	87	1,150
包括利益	–	88	–			

(4) 貸借対照表

＜ 連結貸借対照表 (要約) ＞

資産の部	【2009年度】	【2010年度】	【前年比】
流動資産	16,482	18,313	1,831
固定資産	5,250	4,660	△590
資産合計	21,733	22,974	1,241

負債の部	【2009年度】	【2010年度】	【前年比】
流動負債	16,551	17,879	1,328
固定負債	1,370	1,195	△175
負債合計	17,921	19,074	1,153
純資産の部			
資本金	5,939	4,239	△1,700
資本剰余金	4,397	402	△3,995
利益剰余金	△6,485	△697	5,788
自己株式	△61	△61	0
その他の包括利益	△18	△21	△3
少数株主持分	39	39	0
純資産合計	3,811	3,900	89
負債純資産合計	21,733	22,974	1,241

1）２０１０年度 業績の概要

1．決算のポイント

2．業績

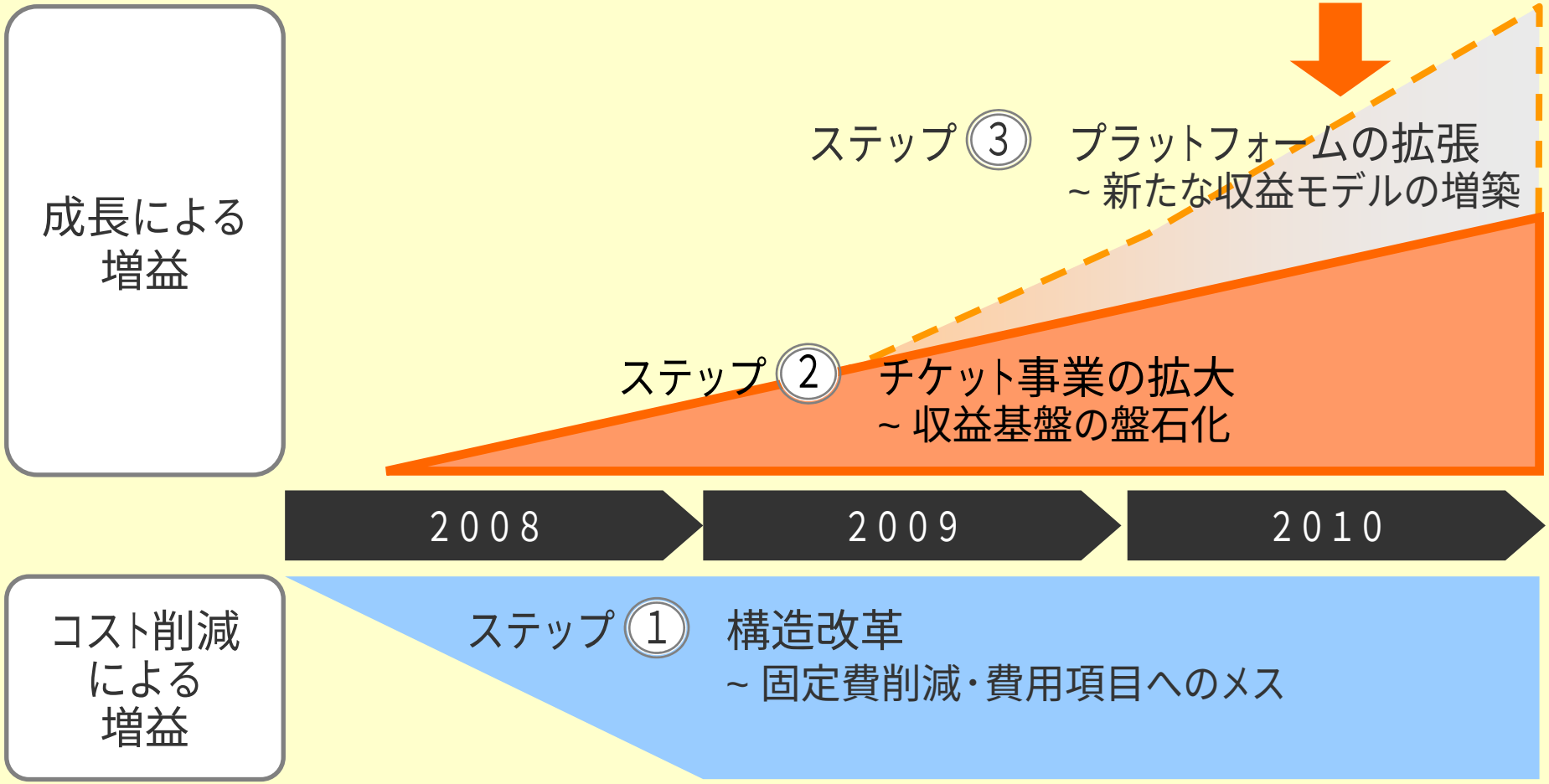
3．取り組み

4．事業別業績

2）２０１１年度 見通し

３．取り組み　　（１）３ヵ年計画

２０１０年度は、３ヵ年計画（２００８年５月発表）の最終年度。
①構造改革を継続して実施。（販管費 ０７年度 １１２億⇒１０年度 ７８億）
②チケット事業の２０１０年度方針を、「拡大」から「収益構造の良化」に転換し奏功。
③プラットフォームの拡張は未着手。



3．取り組み　（2）事業別業績概観

ライブエンタメ関連事業（ＬＥ関連）は、減収ながら収益構造の良化により増益。
メディアコンテンツ事業（ＭＣ）は、減収するも利益規模は維持。

[単位：百万円]

			【２００９年度】	【２０１０年度】	【前年比】		
連結	ＬＥ関連	売上高	８９,８９２	８７,２７９	△２,６１３	△２.９％	減収
		営業利益	３２５	６６１	３３６	１０３.３％	増益
	ＭＣ	売上高	５,８９７	５,２３７	△６６０	△１１.１％	減収
		営業利益	２３７	２２３	△１４	△５.９％	減益
	その他の区分	売上高	２３８	１４７	△９１	△３８.２％	減収
		営業利益	１４０	６５	△７５	△５３.５％	減益
	全社費用	営業利益	△１,２９８	△８９６	４０２	３０.９％	増益

ＬＥ関連事業の収益構造の良化施策が奏功。事業拡大による利益成長も視野。
ＭＣ事業は構造改革の途上。成長のための変革を継続。

３．取り組み　　（３）コスト削減

各種コスト削減施策を展開

●主なコスト削減施策

・チケットシステム運用の業務効率の追求（ＬＥ関連）

・取引条件の改善による支払手数料の削減（ＬＥ関連）

・編集・製作コストの削減（ＭＣ）

・社内業務の効率化による人件費の圧縮（ＬＥ関連・ＭＣ）

［単位：百万円］

		【２００９年度】	【２０１０年度】	＜前年比＞		
連結	販管費	8,763	7,860	△９０３	１０．３％	良化

コスト削減施策を継続展開し、前年度実施の構造改革効果の発現と併せて
販管費は、前年比９００百万円の良化。

1）２０１０年度 業績の概要

1．決算のポイント

2．業績

3．取り組み

4．事業別業績

2）２０１１年度 見通し

4．事業別業績　(1) ライブ・エンタテインメント関連事業①

一時的な減収の影響を最小化し、収益構造の良化によって利益を倍増

[単位：百万円]

	【2009】	【2010】
売上高 (前年比)	89,892	87,279 (97.1%)
営業利益 (前年比)	325	661 (203.3%)

- ファミリーマートでのチケット販売終了 (5月) に伴う一時的な影響を、音楽ジャンルを中心とした大型興行のチケット販売の好調により最小化
- セブン＆アイグループとの業務提携の展開、及びシステムコストを中心とした経費効率の向上により、収益構造を良化
- 今後は、売上高の規模回復を実現することで収益拡大基調へ

4．事業別業績　(1) ライブ・エンタテインメント関連事業②

お客様の利便性向上、気づき・購買を促進する施策を展開

セブンイレブン店舗での情報誌「7ぴあ」展開

ぴあギフトカードによる購買促進

特典付与による顧客接点の強化

シーズン特集の展開

4．事業別業績　（2）メディア・コンテンツ事業①

業界全体の低迷傾向が継続する中、不採算の定刊商品の休刊、キャラクターコンテンツを特集した不定刊商品のヒットにより、減収ながらも利益規模を維持

[単位：百万円]

	【2009】	【2010】
売上高（前年比）	5,897	5,237（88.8%）
営業利益（前年比）	237	223（94.1%）

- 編集・製作コストの削減を継続
- 定刊商品「ぴあ中部版」「ぴあ関西版」を休刊
- 今後は、不定刊商品の開発力強化による改善余地あり

4．事業別業績　（2）メディア・コンテンツ事業②

キャラクターやＴＶ番組のコンテンツなど嗜好性の強い商品や、広告クライアントニーズに貢献する流通・広告連動型の不定刊商品が好調

好調商品

キャラクター連動型

「ポケモンぴあ」

©2010 Pokémon.
©1995-2010 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

「プリキュアぴあ」

(C) 2011映画プリキュアオールスターズDX３製作委員会

TV番組連動型

「西靖の60日間
世界一周 旅の軌跡 」

毎日放送との
タイアップ

流通・広告連動型

「おでんぴあ」

セブンイレブンとの
タイアップ

「日本達人」

日本航空との
タイアップ

1）２０１０年度 業績の概要

1．決算のポイント

2．業績

3．取り組み

4．事業別業績

2）２０１１年度 見通し

連結業績予想

震災後の影響を慎重にウォッチしつつ、
２０１１年度の業績予想の発表は、
第１四半期の決算開示月である
8月にさせていただきます。

２０１１年度方針

縮小均衡にピリオドを打ち、
新しいステップを踏み出す年にする

- ライブ・エンタメ関連事業を、収益の拡大基調に乗せる
- メディア・コンテンツ事業は、ビジネスモデルの進化・変革を推進する

２０１１年度の主な取り組み①

ライブ・エンタテインメント関連事業

「セブン-イレブン」でのチケット販売
提携効果が通期で発現

チケットぴあ × 7 ELEVEN

「チケットぴあ」webＡＰＩを公開。
販売窓口の拡大

チケット情報が様々なＷｅｂサイトに展開

自主企画興行の拡大・強化

ROCKS TOKYO

ロンドンオリンピックの
チケット販売開始（7月～）

「2012ロンドンオリンピック競技大会」において
国内観戦チケット販売の総代理業務を担います

JAPAN
JOC オフィシャル
チケッティング マネジメント

ぴあはＪＯＣオフィシャルチケットマネジメントとして、日本選手を応援しています。

２０１１年度の主な取り組み②

メディア・コンテンツ事業

キャラクター連動型ＭＯＯＫの販売拡大

(C)2010 石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映
(C)石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映
(C)東映・東映ビデオ・石森プロ
(C)石森プロ・東映

(c)2011 士郎正宗・Production I.G／
講談社・攻殻機動隊製作委員会

７＆iグループとの出版連動強化

付録付き雑誌など
新しい出版モデルの強化

アルポルト 片岡護シェフの
ヘルシー・カンタン・イタリアン
レシピ
(シリコンスチーマー付き)
【別冊ミニレシピ付】

新しいビジネスモデルによる
進化型メディアのリリース

PISA